

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

2025年 5 月 16 日

長野県知事 様

住 所 長野県岡谷市長地柴宮2-12-6
氏 名 株式会社 グッドライフ
代表取締役 小泉 翔建
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所		長野県佐久市内山字苦水1766
事業区域の位置及び面積		1349.0 m ² 位置図、事業区域図のとおり
太陽光発電施設の合計出力		49.50kW (太陽電池の合計出力97.94 kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (なし) オフサイトP P A方式により関東圏大企業 に電力売電予定
	設置工事着手予定日	令和7年7月3日
	設置工事完了予定日	令和7年7月30日
	運転開始予定日	令和7年7月30日
	施設撤去予定日	令和37年7月29日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造(強度)計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。
景観保全のための措置の検討に関する事項		別紙 【景観の保全のための措置の検討状況書】参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)		
備考		連絡先 (電話番号) 0266-78-6018 (FAX番号) 0266-78-6017 (電子メールアドレス) info@good-life.jp.com

注 1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第 1 位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第 1 位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第 9 条第 1 項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 太陽光発電施設の配置図
 - 4 条例第11条の書面
 - 5 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☐ その他（ ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	別紙工程表の通り		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ） 60 台 2 台×30 日 運行時間 平日 9：00～17：00 経路 別紙案内図のとおり		
造成工事	盛土の有無	無	想定盛土量 m ³
	切土の有無	無	想定切土量 m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		m ³
排水処理設備の有無	有		
	排出経路	敷地内浸透処理	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	斜面や高台ではないが周辺に農地、住居が広がっている為、土地の造成は無しとした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	眺望点からは見えない
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	道路境界よりパネルを1.5m後退させた。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	敷地内の十分な幅の管理用道路によりパネルを複数に分割した
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	冬季の積雪を考慮してパネルの水下を1mとし水上を2.405mとし高さを控えた
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	角度20度で設置する計画 圧迫感も比較的少ないと考えられる
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	真南0° で揃えて配置します
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	付近の建築物は4-5寸勾配が多く、パネルの角度20度としている為比較的近い角度となっている
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	道路からなるべく後退させて配置した

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		防眩処理が施され、結晶が目立たないものを選択した
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒または濃紺を採用します
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	用います
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	用います
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		付近の景観に合わせ茶色のフェンスを使用します
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		新設は必要最低限の本数とするよう検討した
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		表面は白色のものを採用します
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		緑化は行いません
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		緑化は行いません
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		近隣に反射光が行くような住宅はありませんので反射光の影響は少ないと考えられる
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		30年間の維持管理計画を立て、それに沿って管理を行う。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		佐久市役所建築住宅課に確認した

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日 令和 7 年 5 月 16 日

太陽光発電施設の設置場所	長野県佐久市内山字苦水 1766	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	〒394-0083 長野県岡谷市長地柴宮 2-12-6 株式会社 グッドライフ 代表取締役 小泉 翔建 0266-78-6018	
保守点検責任者	氏名及び住所	株式会社 グッドライフ 小林 亮二
	電話番号	0266-78-6018
合計出力	49.50kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 37 年 7 月 29 日	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	・ 太陽光発電施設の処分は廃棄物処理業者に依頼する ・ 撤去後は農地に戻す予定 ・ FIT 法の廃棄費用積み立て制度に準拠し独自で積み立てを行う	
維持管理計画及び状況の公表方法	・ 標識と一緒に現場に置く	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

○強風による飛散 ・ 太陽電池モジュール、課題の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような 劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

○豪雨による水害 ・ 土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

・ 事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省、県など）に 連絡をする。

・ 土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害 起きないように対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年1回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年1回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		年1回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年1回	
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年1回	
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年1回	
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年1回	
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年1回	
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	

			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
排水設備	☒	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年1回	
			亀裂、ずれがない。		年1回	
			破損がない。		年1回	
			排水設備外への漏水がない。		年1回	
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			

	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年1回	
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		年1回	
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年1回	
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	
			雨水等による洗掘がない。		年1回	
			草木の繁茂がない。		年3回	
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	
			雨水等による洗掘がない。		年1回	
			草木の繁茂がない。		年3回	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。



佐久市内山1766

中電柱 50ケ812

中電柱 50ケ813

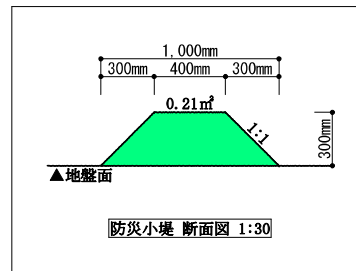
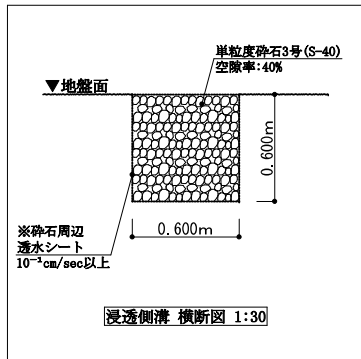
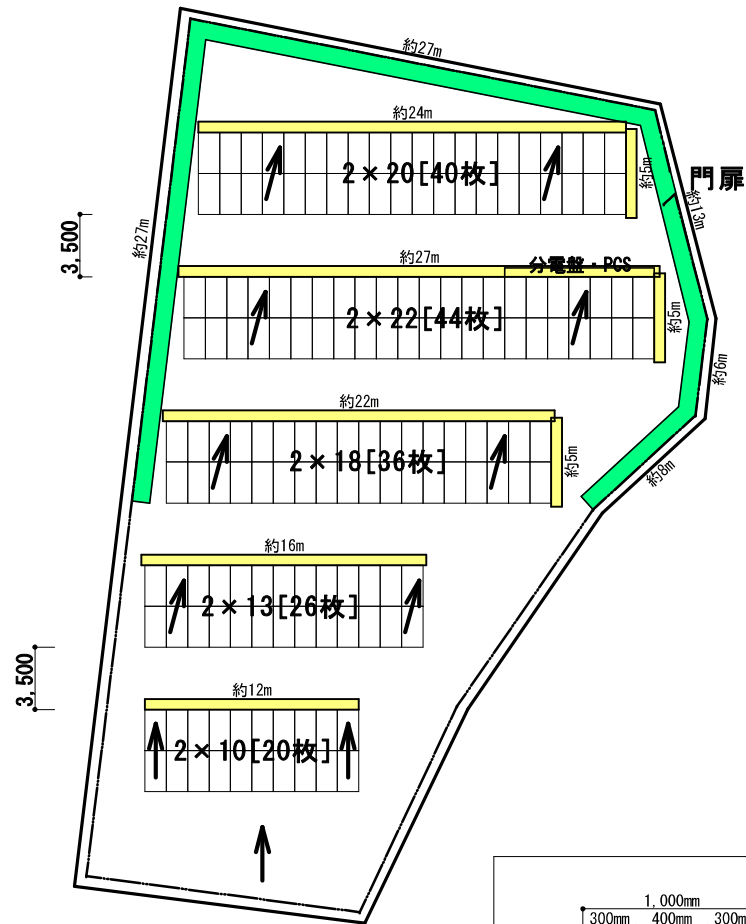
(株)プロダクト

Google

画像 ©2025 Airbus, Maxar Technologies, 地図データ ©2025 日本 利用規約 プライバシー サービスに関するフィードバックを送信

20 m

雨水排水処理計画図



< オンサイト貯留浸透施設 >

..... 浸透貯留側溝 W=600×H600 総延長≒116m

掘削土量: $0.6 \times 0.6 \times 116 = 41.76 \text{ m}^3$

..... 防災小堤 $\approx 81 \text{ m} \times 0.21 \text{ m}^2 = 17.01 \text{ m}^3$

残土: $41.76 - 17.01 = 24.75 \text{ m}^3$

(残土については、当社ストックヤードに持込み・保管、再利用する。)

※計算上「113m」で浸透貯留容量は十分だが、パネル配置・地形を考慮し左記とする。

←..... 土地傾斜 (水勾配)

< 各面積 >

敷地面積: $1,244 \text{ m}^2$

太陽光パネル面積: $W1200 \times D2300 = 2.76 \text{ m}^2/\text{枚} \times 166 \text{ 枚} = 458 \text{ m}^2$

残地面積: $1,244 - 458 = 786 \text{ m}^2$

システム概略	
設備認定出力	
DC/AC	97.94kW/49.50kW
太陽光発電モジュール	CS8W-590T
パワーコンディショナー	SUN2000-4.95KTL-JPL1
パネル枚数	166枚
パワコン台数	10台
使用架台/基礎/GL高さ	アルミ/スクリー/1,000mm
架台設置角度	設置角度: 20度 方位角: 0°
フェンス距離	150m
設置場所住所	長野県佐久市内山1766
搬入可能車両 (備考)	

図番	25.04.22 雨水排水施設追記
作成者	株式会社グッドライフ

株式会社 グッドライフ
〒394-0083 長野県岡谷市長地薬宮2-12-6 第二小ロビル201
TEL 0266-78-6018 FAX 0266-78-6017

御客様	営業担当	施工担当	尺度 A3 1/300
			作成日 2025.2.21

件名	太陽光発電所設計図面
図名	

No.	項目	担当（敬称略）	2月				3月				4月				5月				6月				7月				備考
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
1	農地転用申請											申請			申請					完了							
	ガイドライン申請										申請				完了												
2	県条例申請																										
	事前申請	2025/1/24申し込み																									
	説明会																										
	意見要望縦覧期間																										
	意見回答・本申請																										
3	接続協議																										
	連係申請書類の公開	中部電力																									
	申請準備・書類作成																										
	軽微変更届	中部電力																									
	接続工事	中部電力																									令和7年7月予定
4																											
5	資材調達																										
	モジュール	グッドライフ															納品										納品予定
	パワコン	グッドライフ															納品										納品予定
	架台	グッドライフ															納品										納品予定
	その他資材	グッドライフ															納品										納品予定
6	工事																										
	架台・パネル設置	工事業者様（グッドライフ手配）																									令和7年7月まで
	電気工事	工事業者様（グッドライフ手配）																									令和7年7月まで
	フェンス・浸透設備	工事業者様（グッドライフ手配）																									令和7年7月まで
7	着手届																										
8	完成届け																										令和7年7月末
9	使用前自己確認																										令和7年7月



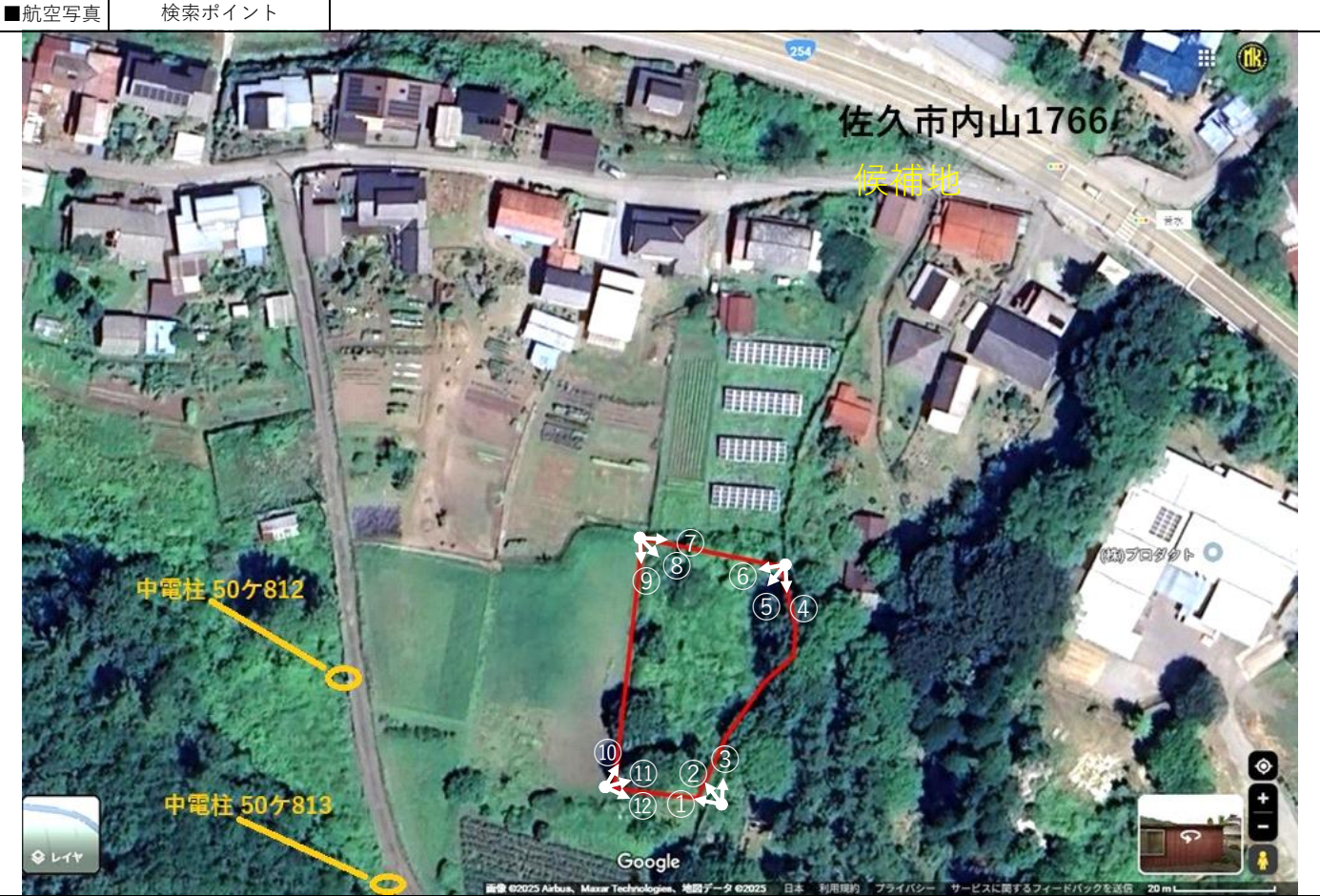
佐久市内山1766





担当者（社名・担当者名）		株式会社グッドライフ 小泉翔建		現調実施日	2025/1/9	
■基本情報	管理番号					
	所在地	佐久市内山1766				
	地積	㎡（公簿）		地目		
	緯度			経度		
	区域区分	☐ 都市計画区域内 ☒ 都市計画区域外				

■チェック項目		
項目	内容	チェック欄
土地状況	高さ概ね1m以上、勾配概ね30度以上の段差や法面がないこと（近隣地含む。）	☒
不安要素	事業地及び近隣地に事業に影響する不安要素がないこと	☒
ハザード	■該当なし（津波・液状化・下記全て） ☐ 洪水（最大浸水） ☐ 土砂災害（ ☐ 急傾斜地 ☐ 土石流 ☐ 地すべり） ☐ 高潮 ※1つでも該当する場合は要確認	左記
	ハザード指定理由：	左記
過去被災状況	確認日：確認中	
	行政担当者 管轄部署：氏名：	
	半径500m以内で過去に被災した事実がないこと	
	被災事実があり、当該災害に対して十分な対策工事が取られた場合	
	原因：	
	被災内容： ☐ 浸水（ m） ☐ 道路冠水 ☐ 土砂災害 ☐ その他（ ）	左記
対策工事の内容：		
地域条件	積雪（ cm）※100cm以下であること ☐ 離島ではない ☐ ノンファーム地域ではない	左記



9 (横向き撮影) 	10 	11 (横向き撮影) 	12 
13	14	15	16
17	18		
19	20		

(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

2025年 4月 21日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		長野県岡谷市長地柴宮2-12-6 株式会社 グッドライフ 代表取締役 小泉 翔建
事業太陽光発電施設の設置の場所		長野県佐久市内山字苦水1766 設備ID (なし オフサイトP P A方式により関東圏大企業に電力売電予定)
説明会開催についての周知の方法とその範囲		該当区様への回覧板及び全戸配布
説明会の概要	日時	令和7年3月16日 (日) 10:30から
	場所	苦水公民館
	参加者数	28名
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	株式会社 グッドライフ 部長 塚原 常好

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

太陽光発電所建設計画

施工概要

「佐久市内山字苦水 1766 番」

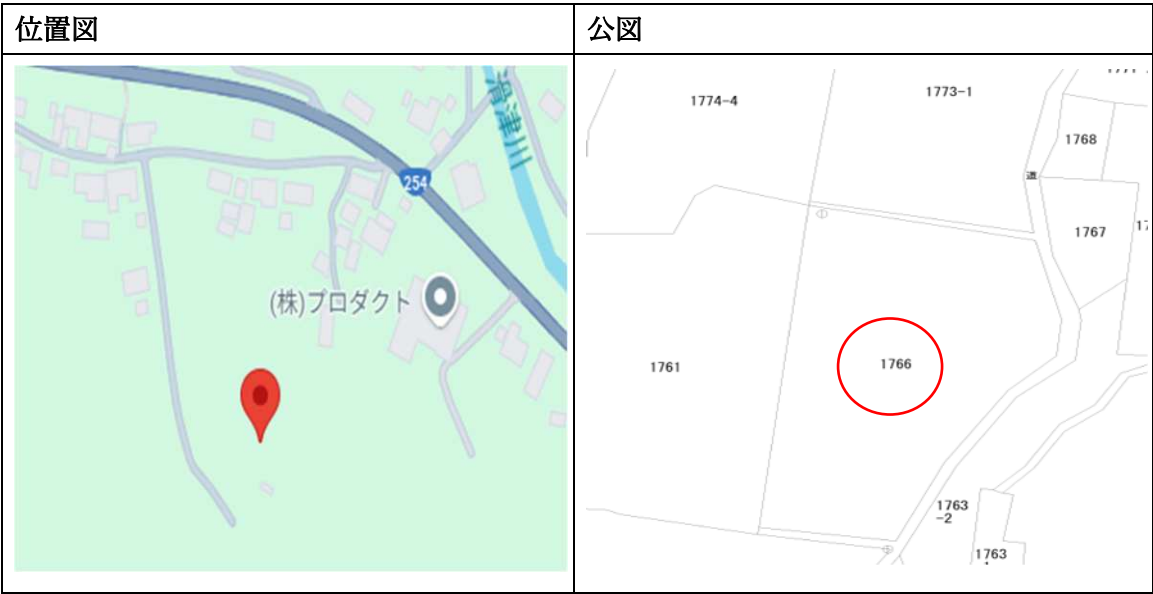
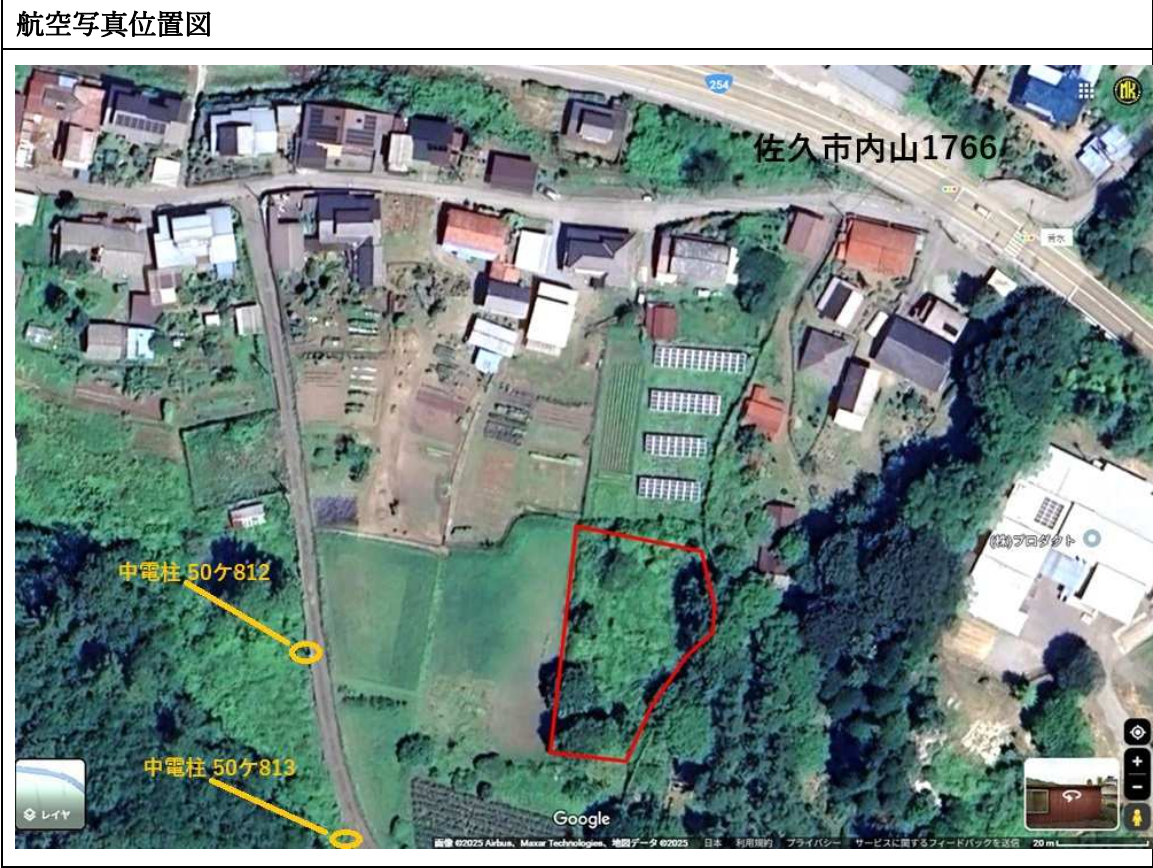


株式会社グッドライフ

計画地

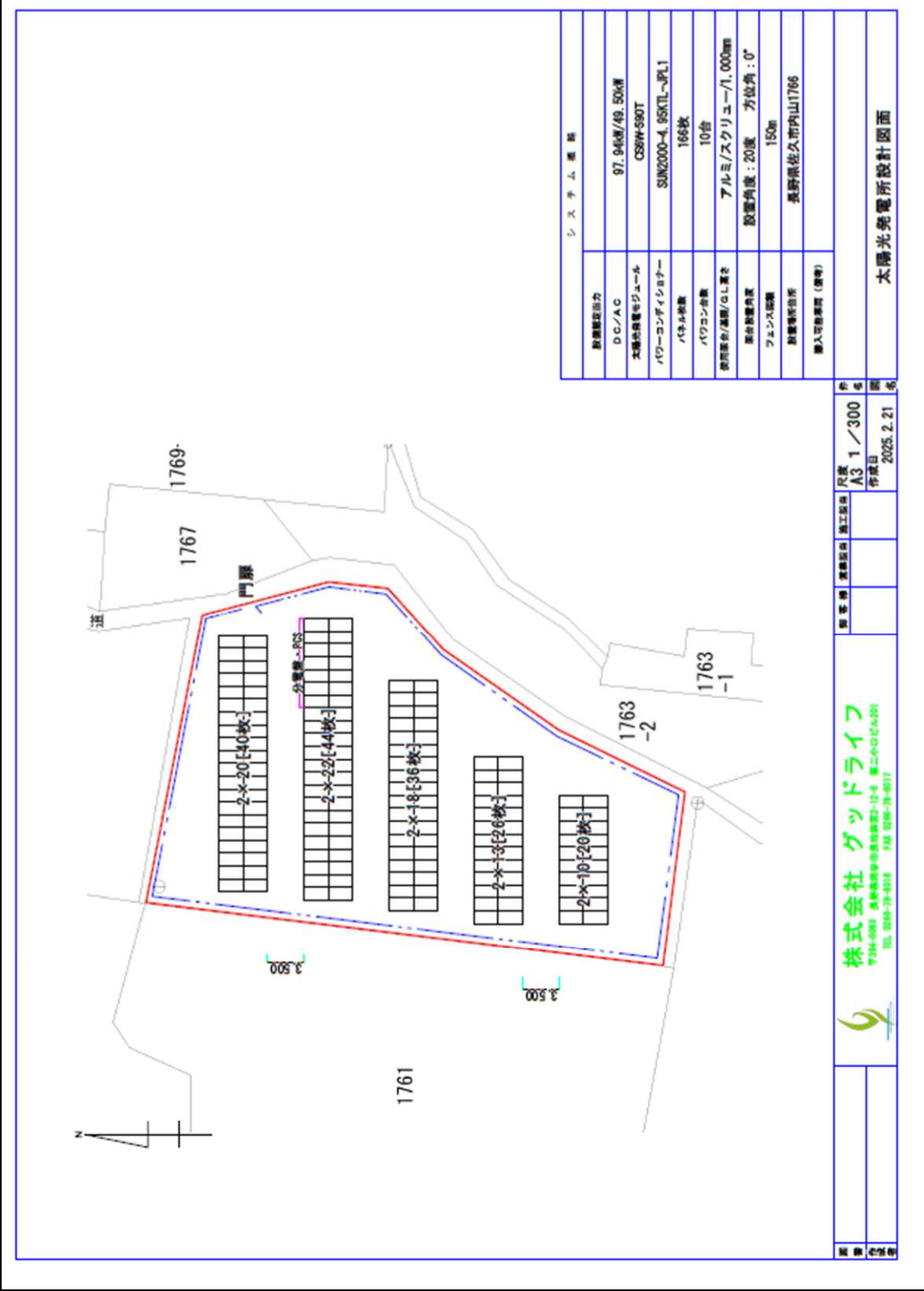
住所： 佐久市内山字苦水 1766 番

地目： 田 面積： 1349 m²



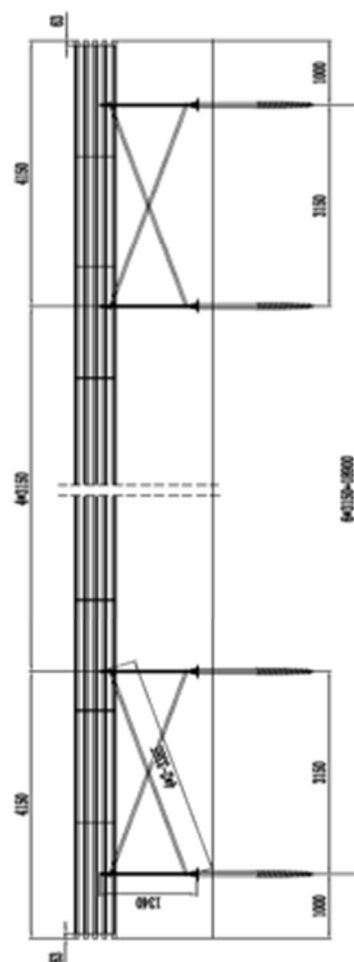
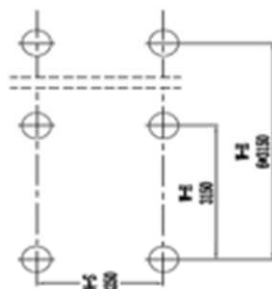
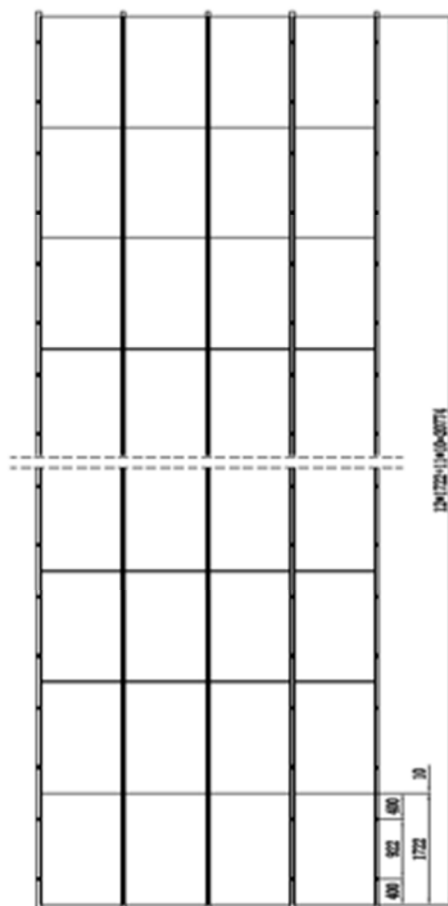
該当地住所	長野県佐久市内山1766 佐久市
ハザードマップ参照自治体名	ハザードマップ
	備考 ・当該地域は、「土砂災害警戒区域」に該当いたしません。 https://www.city.saku.nagano.jp/kurashi/isa/bosai_bohan/bosaimap.files/R2-seniki.pdf

配置図 ※現地測量後変更になる場合がございます



架台図面 イメージになります

JKM445N-54HL4R-V



注: 土質は粘性土 30%として設計しております。

工事内容	工事番号	工事名	工事種別	工事内容	工事番号	工事名	工事種別
土木	10	土木	土木	土木	10	土木	土木
土木	10	土木	土木	土木	10	土木	土木
土木	10	土木	土木	土木	10	土木	土木
土木	10	土木	土木	土木	10	土木	土木

土木

土地情報及び発電事業計画内容

発電設備の設置場所	佐久市内山字苦水 1766 番
事業者名	株式会社グッドライフ
事業者住所	長野県岡谷市
土地契約形態	売買による所有権移転
太陽光モジュール情報	
製造事業者名	カナディアンソーラー
モジュール種類	単結晶のシリコンを用いた太陽電池
変換効率	21%
型式番号	CS6W-590T
枚数	166 枚
合計出力	97.94KW
パワーコンディショナー情報	
製造事業者名	Huawei パワコン
パワーコンディショナー種類	单相式
型式番号	SUN2000-4.95KTL-JPL1
自立運転機能の有無	有
台数	10 台
1 台当たりの出力	4.95KW×台 49.5KW
基礎・架台・雨水対策（地盤調査・引張試験）	
基礎工法	スクリュー基礎
基礎材質	スチール製
架台材質	アルミ製
設置角度及び GL	20 度 低 1000 高 1800
強度計算	JIS 規格（強度計算）適合
積雪基準及び風速基準	60cm 30m/s
外構フェンス	150m
雨水対策	条例に従い設置 （浸透試験実施）
施工会社	株式会社グッドライフ
施工会社連絡先	0266-78-6018
管理会社情報	
管理会社	株式会社グッドライフ
管理会社連絡先	0266-78-6018

管理

管理内容 ・年間3回～4回の除草作業 ・電気点検 (異常値が検出された場合ソコデス測定により原因を調べる) ・架台点検(ボルトの緩み) ・遠隔監視による日々の異常確認 ・損害保険への加入	 ソコデス
--	--

スケジュール

ガイドライン、条例その他 ・町会及び自治会への案内 令和7年2月 ・隣接者様周知及び近隣説明会(町会) 令和7年3月 ・条例の届け出 令和7年3月(説明会終了後) ・条例許可 令和7年4月	農地法(農地転用) ・農地転用申請 令和7年4月 ・農地転用許可 令和7年5月
--	---



技術仕様

項目		SUN2000-4.95KTL-JPL1
入力 (DC)	最大入力電圧	600 V (48V 屋内配線、600V 屋外配線)
	最大入力電流 (MPPT 回路毎)	18 A
	最大回路電流	28 A
	起動電圧	500 V
	MPPT 電圧範囲	50 V ~ 550 V
	起動入力電圧	200 V
	最大入力回路数	4
出力 (AC)	MPPT 回路数	2
	配電方式/配線方式	単相3線/単相3線
	定格出力	4.95 kW
	最大交流電力	5.10 VA
	定格出力電圧	200 V
	定格出力電流	50 Hz/28 A
	出力電圧範囲	0.8 進み ~ 0.8 遅れ
自己出力 (AC)	出力電圧調整率	無負荷以下、各 0.1% 以下
	定格出力電圧	100 V、200 V※1
	定格出力電流	2.45 A、4.95 A※1
	配電方式/配線方式	単相3線 (100 V/単相3線 200 V※1)
	出力電流	50 Hz/28 A
	効率	97.8%
	AFCI 保護	対応
保護機能	過電圧保護	OV, LM, OF, UF
	単相逆起電力検出方式	スワッチ型入力検出方式/インテリクティブ型電力検出制御機能対応 (app 1.0)
	単相逆起電力検出方式	電圧位相検出方式
	FR 要件	FR 要件 (20%) 対応
	直流逆起電力検出	対応
	交流サーージ保護	対応
	交流サーージ保護	対応
表示/通信	直流逆起電力検出	対応
	交流逆起電力検出	対応
	交流逆起電力検出	対応
	表示	Face-Solar APP/SmartLager (Web, USB) ※2
	LED	運転状態表示灯
	寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	315 × 640 × 150 mm ※3
その他	質量	18 kg ※3
	使用環境温度	-25℃ ~ 60℃
	冷却方式	自然冷却 (ファンレス設計)
	設置環境 (海抜)	4,000 m 以下
	動作温度 (保管時)	0℃ ~ 100℃
	防雨/防塵等級	IP65

※1: 全負荷対応の場合、電圧部分が必要です。 ※2: SUN2000-4.95KTL-JPL1.0 設計には SmartLager が必要です。 ※3: 設置環境を含みます。

SOLAR HUAWEI COMP



ハイブリッド パワーコンディショナ

SUN2000-4.95KTL-JPL1



安全性 AFCI ※1 A機能を搭載し、0.5秒以内でアーク放電を遮断し、更なる安全性向上を実現

高信頼性

自立運転 101V標準仕様
200Vオプション対応

高発電量

97.5% 最大変換効率97.5%
JS変換効率97.0%

作業性

オフタイマイサー対応 ※2
モジュール単位の発電量を最大化

軽量
ワンマン設置作業

超小型
18kg

超小型
(幅305 × 高さ449 × 奥行159 mm)
自然空冷 (ファンレス設計)

※1: AFCI: Arc-fault circuit interrupter (アーク故障遮断器)、各MPPTに対し、1人1機のみに対応します。
※2: オフタイマイサー

SOLAR HUAWEI COMP

11

太陽光発電設備の廃棄等費用積立制度の全体像

- 廃棄等費用確保WGで取りまとめられた廃棄等費用の確実な積立てを担保する制度の全体像は以下のとおり。
- 対象は、**10kW以上すべての太陽光発電※のFIT・FIP認定事業**。 ※ただし、複数太陽光発電設備事業も対象。

	原則、源泉徴収的な外部積立て	例外的に、内部積立てを許容
廃棄処理の責任	・ 積立ての方法・金額にかかわらず、 最終的に排出者が廃棄処理の責任を負うことが大前提	
積立て主体	・ 認定事業者 （ただし、内部積立てについては、上場している親会社等が廃棄等費用を確保している場合に一部例外あり）	
積立金の額の水準・単価	・ 調達価格/基準価格の算定において想定されている 廃棄等費用 （入札案件は最低落札価格を基準に調整） ・ 供給電力量（kWh）ベース ※ 実際の廃棄処理で不足が発生した場合は事業者が確保	・ 調達価格/基準価格の算定において想定されている 廃棄等費用 と同水準（認定容量（kW）ベース）以上 ※ 実際の廃棄処理で不足が発生した場合は事業者が確保
積立て時期	・ 調達期間/交付期間の終了前10年間	・ 外部積立てと同じか、より早い時期
積立て頻度	・ 調達価格の支払・交付金の交付と同頻度（現行制度では月1回）※FIP認定事業で積立不足が発生した場合は、当該不足分は1年程度分まとめて積み立てる	・ 定期報告（年1回） により廃棄等費用の積立て状況を確認
積立金の使途・取戻し	・ 取戻しは、 廃棄処理が確実に見込まれる資料提出が必要 ・ 調達期間/交付期間終了後は、 事業終了・縮小のほか、パネル交換して事業継続する際にも 、パネルが一定値を超える場合に取戻しを認める ※具体的には、認定上の太陽光パネル出力の15%以上かつ50kW以上 ・ 調達期間/交付期間中は、 事業終了・縮小のみ 取戻しを認める	・ 基本的に、外部積立てと同じ場合のみ、取崩し ・ 修繕等で資金が必要な場合の一時的な使用を認めるが、原則、1年以内に再び基準を満たす積み増しが必要
積立金の確保・管理	・ 電力広域的運営推進機関に 外部積立て ・ 電力広域的運営推進機関が適正に 積立金を管理 ・ 事業者の倒産時も、取戻し条件は維持されるため 債権者は任意に取り戻せず、事業譲渡時には積立金も承継する ・ 積立て状況は公表	・ 積立て主体が、使途が限定された 預金口座 又は 金融商品取引所との関係で開示義務がある財務諸表に廃棄等費用を計上することにより確保 、もしくは、資金確保の蓋然性が高い 保険・保証により担保 ・ 金融機関との契約による 口座確認又は会計監査等による財務状況の確認 ・ 内部積立条件を満たさなくなるときは、 外部に積立て ・ 積立て状況は公表
施行時期	・ 最も早い事業が積立てを開始する時期は 2022年7月1日 ※事業ごとの調達期間/交付期間終了時期に応じて、順次、積立てを開始	

4

太陽光廃棄

ガラスわけーるⅢ型システムの特徴

太陽光パネルの100%リサイクル

分離回収した素材はすべて有価物として活用されます。

『廃ガラスリサイクル事業協同組合』によるサポート

システムの導入企業には組合に加盟いただき、共同でリサイクル事業を展開します。組合で受入れ需要や地域の分担、精錬業者等への一括共同販売等を提供します。

装置導入シェアトップの技術とガラスリサイクルでの実績

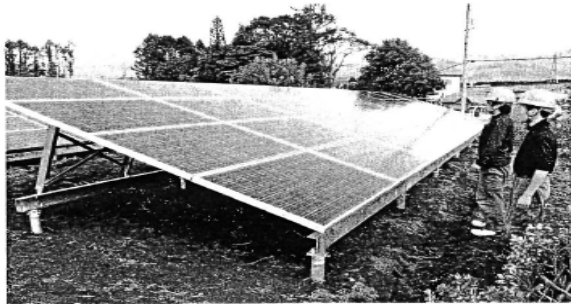
ガラスリサイクルで培った分別技術と、廃棄物の有効活用の実績を有しています。質量でパネルの約80%を占めるガラスの出口も重要なポイントです。



ガラスわけーるⅢ型システム
（写真提供：協和工業株式会社）

当社自己紹介

法人名	株式会社グッドライフ
代表者	代表取締役社長 小泉 翔建
住所	長野県岡谷市長地柴宮 2-12-6 第二小口ビル 201
TEL/FAX	0266-78-6018/0266-78-6017
E-mail	info@good-lifejp.com
設立	平成 23 年 11 月
ビジョン・ミッション 基本方針	 ビジョン エネルギーを通じた 持続可能な豊かな社会の実現をする。 ミッション 地球環境とエネルギー事業を考え、 社会と調和ある発展を目指します。 基本方針 お客様に対する方針 私達の製品、サービスを通じて 豊かな価値を提供出来るよう行動いたします。 メンバー及びパートナーに対する方針 同じ志を共有し、お客様、社会に対し、生きがいを持って 価値を提供し続けられる環境を整えます。 社会に対する方針 価値あるものを後世に渡すという考えのもと、 地域社会、世界で評価される会社を目指します。
許認可	■建設業 長野県知事（般-29）第 25588 号 ■不動産業 長野県知事（1）第 5398 号



農地を転用して完成した太陽光発電施設「豊平矢島発電所」

畑に太陽光発電所

農地転用の県内初施設

茅野市豊平

矢島さんが事業化へ

農地転用で事業用地を確保した県内初の太陽光発電施設「豊平矢島発電所」が、茅野市豊平に完成した。経済産業省「再生可能エネルギー」から正式認定を受けた施設で、地権者である矢島さん85が事業化する。総出力は20・16キロワット。1日に本稼働し、中部電力への売電をスタートする。（川口 弘一）

矢島さんは、農地も仕事にしたいが、高齢のため耕作を止め、遊休地となっていた畑を有効利用し、自宅屋根にも太陽光パネルを設置して、7月から稼働している。10月間、投資資金を回収できると試算した。矢島さんは「地球にやさしい自然エネルギーの拡大につなげたい」と話す。グッドライフの荒巻尚樹社長（左）は「第1種農地の転用は原則禁止だが、第3種農地の耕作放棄地を太陽光発電施設に活用することで、農業収入の底上げにもなる」と農業従事者の高齢化、後継者不足などの課題にも対応したいと述べた。

2021年の西日、午前9時、午後5時、現地では事業説明会を行い、問い合わせは同社に訪店（電話0266・78・6008）へ。

「グッドライフ」岡谷市南区が請け負い、中部サンテックパワースタッフのソーラーパネルを採用した。総事業費は約980万円。

諏訪信金「地域応援ファンド」 岡谷のグッドライフに出資

太陽光発電 PPA 事業参入へ
諏訪信用金庫（岡谷市）は、諏訪信用金庫の「地域応援ファンド」に、岡谷のグッドライフに出資する。PPA（電力購入契約）事業に参入する。PPAは、電力会社から電力を一定期間、一定価格で買取る契約。グッドライフは、太陽光発電施設を建設し、電力会社から電力を供給する事業。グッドライフは、太陽光発電施設を建設し、電力会社から電力を供給する事業。グッドライフは、太陽光発電施設を建設し、電力会社から電力を供給する事業。

豆の企業応援

長野市市場の長野豆の産地、市市場内の産地は、水産加工のスキ（三川七郎）の「豆の産地」を使った豆の産地を始めた。長野市市場内の産地は、水産加工のスキ（三川七郎）の「豆の産地」を使った豆の産地を始めた。長野市市場内の産地は、水産加工のスキ（三川七郎）の「豆の産地」を使った豆の産地を始めた。

グッドライフは、事業の第1期として茅野市小中学校の校舎に太陽光パネルを設置する。グッドライフは、事業の第1期として茅野市小中学校の校舎に太陽光パネルを設置する。グッドライフは、事業の第1期として茅野市小中学校の校舎に太陽光パネルを設置する。

2012年10月5日 金曜日

大切な土地お譲りください!!

農地

宅地

山林

原野

工場跡地

休耕地



地元密着

【土地に関するお悩みありませんか？】

- 草刈りがご負担になっている...
- 農業経営が成り立たない...
- ご相続... ● 後継者...

税金や土地の管理で頭を悩ませている

そんな土地を

買います!!

借ります!!

運用します!!



地球環境とエネルギー事業を営む

0120-786-018

本社／長野県岡谷市長地柴宮2-12-6 宅地建物取引業：長野県知事(1)第5388号 建設業：長野県知事(般-28)第25588号
HP <http://good-life.jp> FAX. 0266-78-6017 info@good-life.jp

[illegible]

佐久市内山字苦水 太陽光発電所建設計画説明会議事録

株式会社グッドライフ

3月16日(月)の佐久市内山字苦水での住民説明会で、株式会社グッドライフの塚原、後藤が太陽光発電所建設計画の説明会を行いました。建設予定地は佐久市内山字苦水1762及び1766の二区画です。それぞれ1449平米と1349平米で、両者それぞれ166枚、97.94kw/hの発電能力を持つパネル（カナディアンソーラー製（中国製）・25年出力保証付き）、パワーコンディショナー（Huawei（中国）製）を設置する予定です。施工方法としては、深さ1.4～1.6メートル、地上高1.6～1.8メートルのスクリーパイルを埋め込む形を採用し、風速30m/sや積雪60cmに耐えられる設計となっています。管理計画は、長野県・佐久市の条例に準拠していること、土砂災害特別警戒区域外に設置すること、弊社にて年3～4回の除草作業、遠隔監視システムの導入、損害保険への加入をすることなどを確認いたしました。説明会では、契約締結や管理体制についても議論し、地域住民との信頼関係の構築が重要であるという弊社の意思を示しました。

議題

1. 太陽光発電所建設プロジェクトの概要
2. 計画地の詳細
3. 施工方法と技術仕様
4. 除草作業、電気点検、遠隔監視システム、損害保険の加入等管理体制と運用計画
5. 契約締結の進め方、管理会社の継続的な関与など地域住民の方との合意について

ご意見・ご質問	回答
1. 施工前のルート確認について	- 工事開始2-3週間前に詳細ルートを回覧板で通知いたします。 - 通行止め時は警察に届出をします。 - 地域の希望する時間帯に配慮して工事を実施いたします（日時等） - 施行前に写真を撮影し、道路状況を記録します。
2. 土日施工について	- 土日の作業は行いません。 - 平日のみ施工いたします。 - 通勤・通学時間を避けて作業いたします。
3. 雨水対策について	- 役場の指導に従い浸透側溝を設置いたします。

	- パネル下部に集中的に浸透設備を設置するなどの雨水対策を強化することで水の流出を防ぎます。 - 事前に浸透試験を実施します。 - 行政の指導に基づく詳細な計画を立てます。
4. 地下浸透への影響について	- パネル洗浄は水のみ使用します（化学製品を用いた管理は実施しません）。 - 地下への化学物質流入を防止し、井戸への影響を最小限に抑えます。
5. 植栽について	- 要望があれば対応可能です。 - その場合、ロビンや生垣などを検討し景観への影響を最大限抑える配慮をします。
6. 行政指導について	- 長野県・佐久市の条例に準拠した計画と施行を行います。 - 浸透試験のデータを提出し、必要があれば情報開示を行います。 - 指導に従った詳細な施工計画を行います。 - 災害時の保険対応について弊社で責任を負います。
その他 協定書に関して	・ 約束するという確約として協定書を弊社で作成します ・ 協定書の主な内容は以下です。 a. 管理会社は常にグッドライフが関与すること b. 事業者変更時は区の承諾が必要となること c. 所有者変更時も協定内容を継続すること d. 地域へ協力金をお支払いすること e. 地域との共存を重視して開発すること これらをお約束します。 ・ 案件一件ごとに作成いたします。そのため、以前佐久市香坂では協定書を30案件ごと、30部を作成しました。

事業基本計画書に係る意見書

令和7年4月18日

受付番号：第 140 号	発電設備の所在地
事業者名：株式会社グッドライフ 代表取締役 小泉 翔建	長野県佐久市内山字苦水 1766
意見及び指示事項	協議結果
1 対象地は周知の埋蔵文化財包蔵地でないため現状では届出等はありません。 しかし、工事中に遺構や遺物等の遺跡と認められるものが発見された場合は、文化財保護法93条に基づく届出が必要であり、発掘調査等が必要になる場合もあります。工事中に遺構や遺物とみられるものが発見された場合は速やかに文化振興課文化財事務所にご連絡ください。 (文化振興課) 2 開発予定地の一部は土石流による土砂災害警戒区域にあることから、災害発生時に当該土地への土砂が流入する恐れがあります。 開発にあたっては、災害想定及び災害発生前後の対応策を踏まえ、地域住民に説明するとともに、文書等をもって対策を確実に周知して下さい。 (危機管理課) 3 当該土地の一部に土砂災害防止法に基づく、土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）が含まれることから防災情報や気象情報に留意し、災害時の避難経路や避難場所について確認し、安全確保に努めること。 (道路建設課) 4 官民境界を明確にし、境界杭等で明示してください。（土木課） 5 既設道水路に影響が生じる場合は、打ち合わせを行い、必要があれば道路自営工事、占用等の許可を得てください。また、各	1 承知しました。 2 承知しました。 3 承知しました。 4 承知しました。 5 承知しました。

関係機関との協議を十分行ってください。 (土木課)	
6 事業区域内の雨水は周辺の市道および水路に流出しないようにしてください。 (土木課)	6 承知しました。
7 工事車輛の経路上における公共物等の汚破損については、速やかに道路管理者に連絡した上で管理者の指示に従い、申請者工事車輛の経路上における公共物等の汚破損については、速やかに道路管理者に連絡した上で管理者の指示に従い、申請者の責任で復旧してください。 (土木課)	7 承知しました。
8 敷地内の土砂・碎石等が道路に流出した場合は、申請者で清掃等を行ってください。 (土木課)	8 承知しました。
9 敷地内の排水施設及び排水の流水方向等が分かる図面を提出してください。 (土木課)	9 承知しました。

意見及び指示事項について、協議結果は上記のとおりです。

令和 年 月 日

佐久市 環境部 環境政策課